



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月1日

上場会社名 日本アンテナ株式会社
 コード番号 6930 URL <https://www.nippon-antenna.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧澤 功一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 清水 重三

TEL 03-3893-5221

四半期報告書提出予定日 2019年8月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,463	0.8	9		9		20	
2019年3月期第1四半期	3,436	28.1	56		84		92	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 73百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 80百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	1.84	
2019年3月期第1四半期	7.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	23,048	19,088	82.8
2019年3月期	24,008	19,392	80.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 19,088百万円 2019年3月期 19,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		21.00	21.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,800	5.0	0	100.0	20		50		4.56
通期	17,300	3.6	640	43.6	590	44.1	450	58.7	41.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	14,300,000 株	2019年3月期	14,300,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,324,662 株	2019年3月期	3,324,662 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	10,975,338 株	2019年3月期1Q	12,507,350 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 2019年5月14日発表の連結業績予想の修正は行っていません。
- 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は市場の需要動向等様々な要因によって予想とは異なる結果となる可能性があります。
- 業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果により個人消費は持ち直し、企業収益も底堅く推移する等、緩やかに回復しておりますが、米中間の貿易摩擦の激化や中東の情勢不安といった景気減速の懸念が高まり、先行きは不透明な状況となっております。

当業界において、テレビ関連機器販売の市場に関しましては、4Kテレビや有機ELテレビ等の高付加価値製品の出荷台数は前年同月比で増加を続けており、回復基調となっておりますが、新設住宅着工戸数に関しましては、弱含みで推移しております。

通信関連機器につきましては、官需向け、民需向けともに底堅く推移しております。

このような状況の中、当社グループは、環境に左右されない経営基盤作りに取り組み、収益性に重点をおいた企業活動の推進や、新製品の開発、コストダウンへの継続的取組、業務の効率化による経費の適正な運営等に努めてまいりました。

この結果、前期にあった通信事業者向け機器販売の反動減の影響は大きいものの、テレビ関連機器販売において「新4K8K衛星放送」対応機器の普及に伴い市況が回復傾向となったこともあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,463百万円（前年同期比0.8%増）となりました。営業損失は9百万円（前年同期は56百万円の営業損失）、経常利益は9百万円（前年同期は84百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20百万円（前年同期は92百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(送受信用製品製造事業)

放送関連機器の売上高につきましては、家庭用機器や事業者向け機器販売が好調であったこと等から、前年同期比増となりました。

通信用アンテナの売上高につきましては、官需向けデジタル無線用アンテナが堅調でありましたが、前期好調であった通信事業者向け基地局アンテナの反動減の影響等により、前年同期比減となりました。

この結果、売上高は3,104百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は257百万円（前年同期比58.0%増）となりました。

(工事事業)

前期好調であったアンテナ対策工事が低調であったこと等から、売上高は359百万円（前年同期比21.9%減）、営業損失は43百万円（前年同期は10百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品の増加や、受取手形及び売掛金や現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末比959百万円減の23,048百万円となりました。

負債は、未払法人税等や工事未払金の減少等により、前連結会計年度末比655百万円減の3,959百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当の支払等により、前連結会計年度末比304百万円減の19,088百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末80.8%から82.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあり得ます。

その要因の主なものは、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場動向、為替相場の変動等であります。

なお、2019年5月14日に公表した2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,003	10,197
受取手形及び売掛金	4,833	3,674
有価証券	96	304
商品及び製品	1,892	2,249
仕掛品	33	52
原材料及び貯蔵品	568	719
未成工事支出金	43	69
その他	427	694
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	18,898	17,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,074	5,081
減価償却累計額	△3,506	△3,526
建物及び構築物(純額)	1,568	1,555
機械装置及び運搬具	1,109	1,108
減価償却累計額	△1,068	△1,070
機械装置及び運搬具(純額)	40	37
工具、器具及び備品	2,612	2,709
減価償却累計額	△2,337	△2,376
工具、器具及び備品(純額)	275	333
土地	1,115	1,115
リース資産	95	112
減価償却累計額	△70	△74
リース資産(純額)	25	37
建設仮勘定	33	3
有形固定資産合計	3,058	3,082
無形固定資産		
ソフトウェア	71	78
ソフトウェア仮勘定	—	9
その他	0	3
無形固定資産合計	72	91
投資その他の資産		
投資有価証券	972	866
繰延税金資産	204	239
その他	803	806
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,979	1,912
固定資産合計	5,109	5,086
資産合計	24,008	23,048

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,991	2,091
工事未払金	185	75
未払費用	215	199
リース債務	14	15
未払法人税等	241	30
賞与引当金	223	163
その他	837	471
流動負債合計	3,708	3,048
固定負債		
リース債務	11	22
退職給付に係る負債	811	805
長期未払金	80	80
その他	4	3
固定負債合計	906	911
負債合計	4,615	3,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,673	4,673
資本剰余金	6,318	6,318
利益剰余金	10,639	10,429
自己株式	△2,479	△2,479
株主資本合計	19,152	18,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	92
為替換算調整勘定	35	17
退職給付に係る調整累計額	38	36
その他の包括利益累計額合計	240	146
純資産合計	19,392	19,088
負債純資産合計	24,008	23,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高		
製品売上高	2,976	3,104
完成工事高	460	359
売上高合計	3,436	3,463
売上原価		
製品売上原価	2,095	2,066
完成工事原価	327	255
売上原価合計	2,423	2,321
売上総利益	1,013	1,141
販売費及び一般管理費	1,069	1,151
営業損失(△)	△56	△9
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	9	10
為替差益	—	10
有価証券評価益	—	3
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	2	7
営業外収益合計	16	34
営業外費用		
売上割引	13	14
有価証券評価損	3	—
為替差損	25	—
その他	1	1
営業外費用合計	44	15
経常利益又は経常損失(△)	△84	9
特別利益		
負ののれん発生益	—	19
特別利益合計	—	19
特別損失		
固定資産処分損	1	0
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△88	29
法人税、住民税及び事業税	13	10
法人税等調整額	△10	△1
法人税等合計	3	8
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△92	20
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△92	20

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△92	20
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△73
為替換算調整勘定	△5	△18
退職給付に係る調整額	0	△2
その他の包括利益合計	11	△93
四半期包括利益	△80	△73
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△80	△73
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	送受信 製品製造事業	工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,976	460	3,436	—	3,436
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,976	460	3,436	—	3,436
セグメント利益又は損失(△)	163	△10	152	△209	△56

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	送受信 製品製造事業	工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,104	359	3,463	—	3,463
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	3,104	359	3,463	—	3,463
セグメント利益又は損失(△)	257	△43	214	△224	△9

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。